

期間：個別検診 令和6年7月 1日(月)～令和7年2月28日(金)  
 集団検診 令和6年6月10日(月)～令和7年3月12日(水)

対象：鈴鹿市に住民登録のある方で、職場等で受診する機会がない方

※受診の際は本人確認ができるもの(運転免許証・健康保険証など)を持参してください。

**【対象年齢について】**

- 20歳以上：平成17年4月1日以前に生まれた方
- 40歳以上：昭和60年4月1日以前に生まれた方
- 50歳以上：昭和50年4月1日以前に生まれた方

検診の終了間近は予約が取りづらくなりますので、早めに受診しましょう。



●国の推奨するがん検診は、推奨されている年齢や、受診間隔で検診を受けることにより、死亡率を下げる効果が科学的に証明されています。がん検診について疑問があれば、十分に説明を受け、内容をよく理解したうえで、がん検診を受けましょう。

がん検診について詳しい情報は [国立がん研究センター がん検診について](#) **検索** をご覧ください。

**【注意事項】必ずお読みください**

- \*同じ種類の検診は年度内(令和6年4月～令和7年3月)に1回のみ受診できます。  
胃がん(胃カメラ・バリウム)・乳がん(マンモグラフィ・超音波)は、どちらか一方の検査方法を選んで受診してください。
- \*がん検診を受ける部位の疾患で治療中の方は受診できません。「治療中」とは、医師の指示の下、定期的に診療を受けている、または投薬を受けている状態を指します。また、精密検査を目的としたがん検診も受診できません。詳しくは主治医にご相談ください。
- \*自覚症状がある方は、がん検診ではなく早めに医療機関で診療を受けて下さい。
- \*個別検診を受ける場合には、検診の結果によって治療や詳しい検査が必要な場合もあります。その場合は別途料金がかかりますので、**必ず健康保険証を持参して下さい。**

**【自己負担額の免除について】**

市民税非課税世帯、生活保護世帯の方は無料で受診できます(乳がん検診・前立腺がん検診・肺がん検診のたんの検査・子宮がん検診のHPV検査は除く)。受診前に、受付でお申し出ください。  
 ※「市民税非課税世帯」の確認には、本人確認できるもの(運転免許証・健康保険証など)の提示と同意書(課税状況調査)の記入が必要です。同意書は地域医療推進課窓口または市ウェブサイトからも入手できます。  
 ⚠️ 検診を受けた後に費用の免除はできませんのでご注意ください。

検診種類	胃がん		肺がん	大腸がん			子宮がん			乳がん		前立腺がん
	胃カメラ	バリウム					子宮頸部	子宮体部	マンモグラフィ	超音波(エコー)		
●国の推奨する検診	●		●	●			●		●	—	—	
対象年齢	40歳以上		40歳以上	40歳以上			20歳以上の女性			40歳以上の女性	20歳以上の女性	50歳以上の男性
●国が特に受診を推奨する年齢	50～69歳		40～69歳	40～69歳			20～69歳			40～69歳	—	—
●国の推奨する受診間隔	2年に1回		年1回	年1回			2年に1回			2年に1回	—	—
自己負担額	個別	2,000円	2,000円	500円	たんの検査 +500円	500円		1,100円	HPV検査 +500円	子宮体部 +500円	2,000円	500円
	集団	1,500円		500円	たんの検査 +500円	500円	1,100円			2,000円	1,500円	
検査方法	胃内視鏡検査	胃X線検査	胸部X線検査	喀痰細胞診(たんの検査)	検便(免疫便潜血2日法)		子宮頸部細胞診	子宮体部細胞診	乳房X線検査	乳房超音波検査	血液検査(PSA検査)	
	口あるいは鼻から内視鏡を入れて食道と胃を観察します。 	胃を膨らませる薬とバリウム(造影剤)を飲んで、胃のX線写真を撮り、胃の粘膜を観察します。 	胸部のX線写真を撮ります。  <b>肺がんの予防には、禁煙が極めて重要です</b>		便に血液が混じっていないかを2日分の便で調べる検査です。 		子宮頸がん検診は、子宮の入り口を特殊なブラシで擦って細胞を採り、異常な細胞がないか顕微鏡で確認します。 		乳房を撮影台と板の間に挟み、乳房のX線写真を撮ります。 			
注意事項	※胃カメラかバリウムのどちらか一方を選んで受診してください。		喀痰検査は50歳以上で、高度の喫煙者の方(1日の喫煙本数×年数=600以上)が受診できます。				HPV検査は、20～39歳の希望する方が受診できます。	子宮体部細胞診は問診の結果、医師の判断により必要な方のみ受診できます。	40歳以上の方はマンモグラフィか超音波のどちらか一方を選んで受診してください。 ※40歳以上の方に国が推奨する検査方法はマンモグラフィです。			

★受診間隔については検診医にご相談ください。

胃がん検診(胃カメラ・バリウム)、肺がん検診、乳がん検診(マンモグラフィ)では二重読影(2人以上の医師による読影)を実施しています。

**個人情報の取り扱いについて**

がん検診は、鈴鹿市、鈴鹿市医師会、がん検診協力医療機関が連携して実施しています。がん検診結果及び精密検査結果は、市民の健康向上と検診の精度管理のため、鈴鹿市と関係機関で共有します。個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律に基づき適正に管理しています。